

平成21年度 決算概要について

1. 平成21年度 営業概況

平成21年度の立山黒部アルペンルートは、海外からのお客様が世界的な景気の低迷、円高に加え新型インフルエンザの影響等により半減しましたが、「高速道路休日割引」、「黒部の太陽」・「劔岳一点の記」の放映、「シルバーウィーク」等により国内の個人客が増加しました。

結果、入込人員は103万7千人となり、目標の100万人を2年続けて維持しました。内訳をみますと、まず客種別では、国内客が、96万8千人（対前年109%）、海外客が6万8千人（対前年54%）となりました。次に入り込み別では富山入込48万4千人（対前年91%、△4万5千人）、大町入込55万3千人（対前年114%、6万7千人増）となりました。

しかし、大町入込のうち黒部ダム往復が、対前年154%、7万人増加となった一方でルートの通り抜けは、訪日客の半減に国内旅客の減少が加わり、対前年88%、6万8千人の減少となり当社線の乗車人員はいずれも前年を下回ることとなりました。

●アルペンルート入込人員実績

(単位:人)	平成20年度 実績	平成21年度 実績	増減	前年比
入込合計	1,015,500	1,037,000	21,500	102%
富山入込	529,100	483,700	△45,400	91%
大町入込	486,400	553,300	66,900	114%
〈国内・訪日〉				
国内入込人員	887,800	968,500	80,700	109%
訪日入込人員	127,700	68,500	△59,200	54%
台湾	94,600	49,000	△45,600	52%
韓国	19,900	5,900	△14,000	30%
香港	8,700	9,000	300	103%
中国	550	300	△250	55%
その他	3,950	4,300	350	109%

●ホテル宿泊人員実績（立山貫光ターミナル）

(単位:人)	平成20年度 実績	平成21年度 実績	増減	前年比
ホテル立山	34,345	34,019	△326	99%
弥陀ヶ原ホテル	15,851	14,817	△1,034	93%
宇奈月国際ホテル	29,290	29,960	670	102%

※平成21年4月1日より「宇奈月国際ホテル」の経営は、立山貫光ターミナルへ移管いたしました。

2. 決算の概要

立山2社経営成績総括表

会社名	連結			立山黒部貴光(株)			立山貴光ターミナル(株)			2社単純合計		
	平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日			平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日			平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日			平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日		
計算基準	金額 (百万円)	前年度比 %	増減 (百万円)	金額 (百万円)	前年度比 %	増減 (百万円)	金額 (百万円)	前年度比 %	増減 (百万円)	金額 (百万円)	前年度比 %	増減 (百万円)
営業収益												
運輸事業				3,898	94.1%	△ 245	—	—	—	3,898	94.1%	△ 245
ホテル事業							707	99.0%	△ 6	707	99.0%	△ 6
ホテル立山							350	92.8%	△ 26	350	92.8%	△ 26
弥陀ヶ原ホテル												
宇奈月国際ホテル				—	—	△ 615	593	—	593	593	96.3%	△ 22
ホテル事業 計				—	—	△ 615	1,651	151.3%	559	1,651	96.7%	△ 56
付帯事業				858	92.3%	△ 71	1,120	96.6%	△ 39	1,979	94.7%	△ 110
営業収益 計	7,355	94.4%	△ 439	4,757	83.6%	△ 932	2,772	123.1%	520	7,529	94.8%	△ 411
営業費 計	7,009	95.9%	△ 298	4,477	85.3%	△ 772	2,723	123.0%	509	7,200	96.5%	△ 262
営業利益	346	71.0%	△ 141	280	63.6%	△ 160	49	129.5%	11	329	68.8%	△ 149
営業外損益	1	—	6	2	—	13	6	64.4%	△ 3	9	—	10
経常利益	347	72.0%	△ 134	283	65.9%	△ 146	55	115.4%	7	339	70.9%	△ 139
特別損益	△ 43	—	41	△ 42	—	40	—	—	—	△ 43	—	41
税引前当期純利益	304	76.5%	△ 93	240	69.5%	△ 105	54	117.7%	8	295	—	—
法人税、住民税及び事業税	154	90.4%	△ 16	112	70.0%	△ 48	42	400.0%	31	154	—	—
法人税等調整額	△ 11	—	△ 23	9	50.9%	△ 8	△ 19	—	△ 13	△ 10	—	—
少数株主利益	9	333.5%	6							—		
当期純利益	151	71.5%	△ 60	119	71.0%	△ 49	32	76.8%	△ 9	152	—	—

総資産	13,037	98.5%	△ 196	11,640	97.3%	△ 311	1,978	106.4%	119
純資産	8,785	100.7%	61	8,095	100.1%	10	1,384	103.7%	50

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てしております。

※その他連結子会社(立山黒部サービス)の財産・損益

	金額 (百万円)	前年度比 %	増減 (百万円)
営業収益	318	92.9%	△ 24
当期純利益	1	245.1%	—
総資産	235	97.2%	△ 6

3. 平成22年度について

(1) 安全の確保

運輸事業等を営む当社にとりまして、輸送の安全は当然の責務であり、安全運行、各施設の点検整備の徹底により安全確保の維持に努めてまいります。

また、レストラン、売店における「食の安全」の確保にも万全を尽くしてまいります。

今後とも、全職場における安全管理・安全教育への取り組みを継続して行い、安心・安全なアルペンルートの構築に役職員一丸となって努力してまいります。

(2) 営業再開日および目標人員

4月10日 ・立山～弥陀ヶ原、扇沢～室堂間 部分開通 ・ホテル立山、弥陀ヶ原ホテル営業再開

4月17日 ・立山～扇沢間 全線開通
・宇奈月国際ホテル 通年営業

【アルペンルート入込目標人員】

(単位:人)	平成21年度 実績	平成22年度 目標	増減	前年比
目標人員	1,037,000	1,050,000	13,000	101%
富山入込	483,700	522,000	38,300	108%
大町入込	553,300	528,000	△25,300	95%
・富山入込は、訪日客の回復の見込みと富山側誘導施策等により38,300人増加。 ・大町入込は、昨年の「黒部の太陽」「善光寺御開帳」効果の反動で25,300人減少。 【国内外内訳】 国内970,000人(前年比100%) 訪日80,000人(前年比117%)				

①国内旅行客誘致

- ・大都市圏の大手旅行代理店を中心に、積極的なセールス・PR活動を展開し、募集団体の確保を核に旅客の確保をはかる。
- ・宣伝活動、割引制度などにより、地元客の掘り起こしを積極的に進め、往復客の確保により、当社線乗車人員の増加をはかる。
- ・個人化への対応として、インターネットを介した時間指定乗車券の販売を試行的に開始するほか、多様な旅客ニーズを捉えた施策を推進する。

②訪日旅客誘致

- ・主力台湾の景気回復等を受け航空会社、旅行会社との関係強化をはかり、特に雪の大谷による春季旅客の確保をはかる。
- ・VJC事業との連携を継続し、各国の状況に応じた効果的なPR活動を展開。
- ・タイ、シンガポールなど東南アジアへの直セールスの継続、本格化。
- ・中国大陸等での広告等による知名度アップ、国内インバウンド業者へのセールス強化。
- ・FIT(個人旅行者)をターゲットにしたキャンペーン実施、案内・受入環境の整備。

③ホテル宿泊目標人員(立山貫光ターミナル)

(単位:人)	平成21年度 実績	平成22年度 目標	増減	前年比
ホテル立山	34,019	35,000	981	103%
弥陀ヶ原ホテル	14,817	16,000	1,183	108%
宇奈月国際ホテル	29,960	31,850	1,890	106%